



DO YU 活動ズームアップ

「きりしま支部」

10月例会



きりしま支部10月例会は10月25日「経営理念」をテーマに中山荘で開催。情報関連事業をされている創業者の村山氏、土木建設業の事業承継者である段氏という全く違う業種、立場のお二人に理念経営について報告していただきました。すべての経営者に経営理念が必要であること、また社員や周りの仲間と理念を共有する大切さが改めてわかる報告となりました。



9月25日より第21期「経営指針をつくる会  
《方針・計画編》」がスタート。今回は、7名の受講生が、自社の羅針盤となる経営指針を半年かけて作成します。第1回講座では、受講生の背景を交流しながら各社の10年ビジョンを深めあいました。受講生の皆さんのがんばりと希望に満ちた表情にapoーターも気が引き締まります。

## 第21期「経営指針をつくる会 《方針・計画編》」

## 0月理事會報告

告 日時：10月29日（水）17:00～20:00 於：宮崎市民プラザ+Zoom会議  
理事29名中26名出席（出席率89.7%）+事務局2名

01. 前回理事会（9月24日）以降の活動の経過報告を確認するとともに、10月29日までの1名の入会申し込みと2名の退会申出を承認しました。会員数は449名。

02. 各推進協議会から

(1) 組織強化推進協議会11月の「会員増強月間」については議題7で論議しました。

(2) 人が育つ会社づくり推進協議会の杉村座長より、「秋の役員研修会（9月20日（土））は、役員としての自覚が高まる場となった。レポートでは貞兼社長の『他責は思考停止になる』という発言に共感した声が多くあった」、「今後も回を重ね、多くの役員に参加してもらいたいと考える中で、日程の件が話題となっている。今後の研修を準備していくにあたってヒアリングしていきたい」と報告がありました。

(3) 地域づくり推進協議会の上田担当理事より

①「7-9月期景況調査は、193件を43.5%の回答がよせられました。理事が2回連続全員回答となったことは素晴らしい。今回、回答率30%台だった県北・宮崎北・宮崎南支部は次回は40%をこえるようお願いしたい」。  
那須代表理事より、今回の調査のポイントとして下記の説明がありました。

  - ・地域の内需の低迷、コスト上昇で経済活動が停滞しており。景況は「後退局面」に入っている。
  - ・現在の経営上の問題点では、前回調査から基本的動向はそのままに、仕入単価や人件費の上昇が再加速し、経営を圧迫している。
  - ・経営基盤の強化に向けて注力する分野（経営上の重点）は、財務体質の強化による新規事業展開の動きが加速し、視点は収益源の多角化にむかっている。
  - ・販上げ・物価上昇に対する対応策としては、「販上げを実施した」、「商品・サービス価格を引き上げた」、「業務の効率化・生産性の向上に向けた取り組み」などの回答が目立つ。販上げ対応策としては、原資確保のため「業務プロセスの見直し・効率化」、「収益力の強化や競争力向上」、「新たな売上の創出」などの回答が目立つ。回答企業の積極的な姿勢がうかがえますが、道半ばの状態。働き方改革や人件費以外のコスト削減なども同時に進められている。

②新春経営者交流会の開催概要の提案があり、参加目標100名で取り組むことを確認しました。

03. 宮崎同友会30年史の制作について、金丸担当理事より、11月10日発刊ですんでいること、会議出席時の手渡しと発送で配布をしていく予定が報告されました。

04. みやざき中小企業経営フォーラムについて

(1) 第34回フォーラムの準備について小原実行委員長より、参加申し込み状況と当日の動きについて報告がありました。

(2) 来年の第35回経営フォーラムの準備にむけては、次回理事会に、設営を担当する宮崎北支部より実行委員会立ち上げの見通しや準備スケジュール等について提案し検討することを確認しました。

05. 総務財務委員より、第2回委員会の内容として下記4点の報告がありました。

①2025年度メンバーと役割を確認。

②九州沖縄ブロック共通就業規則案へは、11月委員会で検討し、理事会に答申する。

③上半年の実績と今年度収支について、半期で入会が前年度の半分に対して、退会は前年度を上回るペースで推移しており、フォーラムをはじめ各種セミナー等の開催においても大きな収益は見込めない状況のため、単年度で赤字となる見通し。この状況をふまえて理事会へ、①収入に関して、増強は期首会員数の468名は維持するようにすることが必要。「活動緑入金」について、支部や青年部会・委員会でこれを増やす知恵をだしあってほしい。

④支出については、総務財務委員会で、再度絞り込みの検討をします。という2点が提起、確認されました。

④今年度以降の財政見通しについて、《会員数は468名の現状維持での、向こう5年間の財政シミュレーション》を事務局で作成し、検討する。

06. 2026年度の役員選考について、「理事及び会計監査規定」をもとに2026年度選考スケジュール案が提案され、1月末には26年度理事予定者が確定することを目標に、①選考委員の選出該当組織は11月中に選考委員を選出すること、②11月理事会では26年度理事定数の検討を行うこと、③第1回選考委員会を12月第1週に開催すること、④支部幹事・青年部会幹事の選考もこれに準じてすめていくことを、確認しました。

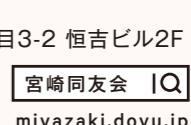
07. 11月の「会員増強月間」の取り組みについて、迎組織強化推進協議会座長が「同友会のコンテンツは充実しているのに成果が上がっていない。様々な活動をやることが目的となっていないか。活動が広がっていない原因は何かを深堀しましょう」と提案。各組織から提出された「上半期の活動の振り返りと11月以降の活動の重点」をもとに、グループ討論を行いました。

11月以降の重点活動としては《退会者を減らす活動を意識する》とともに、具体的にどう動くか、各支部幹事会や青年部会幹事会で論議し、11月17日開催の組織強化推進協議会で共有することを確認しました。

08. その他一来年3月開催の岩手全研への参加目標は、中同協からの要請どおり5名で取り組むことを確認しました。

DO YU  
MIYAZAKI journal

発行 / 宮崎県中小企業家同友会 宮崎市恒久南3丁目3-2 恒吉ビル2F  
TEL / 0985-50-3665 FAX / 0985-50-3653 宮崎同友会 IC  
✉ info@mivazaki.doyu.jp mivazaki.doyu.jp







同友  
みやざき

MIYAZAKI

YU  
journal

No.430  
2025. 11. 10

✉ info@miyazaki.doyu.jp  
🌐 https://miyazaki.doyu.jp

延岡市繁華街の中心地、船倉町月世界のビルの1階で飲食店を経営しています。8年前に開業し、4年前に今のところに移転しました。

以前は、介護事業所で12年間勤めてました。当時は、子供と2人暮らしで給料も安く食べていくのがやつでした。その後、お昼の仕事をしながら夜はラウンジでのアルバイトをして、ちょっとずつ資金を貯めて念願のスナックライオンゲートを2017年にオープンすることができました。しかし、地元の人間ではないので、知り合いも少なく、開業しても大変な時期が長く続き、どうしようと迷つたこともありました。

同友会への入会は、開業して1年が経過した頃で、お客様でもあった県北支部の方からの紹介でした。同友会に関わる中で最も強く感じたのは「経営者とは孤独な戦いではなくって、遊び合いによって育っていくものだ」ということ、そして、例会やグループ討論を通して、多くの経営者が言われているのは、社員は共に未来をつくるパートナーだということです。

第18期「経営指針をつくる会（理念編）」で経営理念をつくり、スタッフとの信頼関係をつくつていける経営

月世界のビルの1階で飲食店を経営しています。8年前に開業し、4年前に今のところに移転しました。

以前は、介護事業所で12年間勤めてました。当時は、子供と2人暮らしで給料も安く食べていくのがやつでした。その後、お昼の仕事をしながら夜はラウンジでのアルバイトをして、ちょっとずつ資金を貯めて念願のスナックライオンゲートを2017年にオープンすることができました。しかし、地元の人間ではないので、知り合いも少なく、開業しても大変な時期が長く続き、どうしようと迷つたこともありました。

お仕事を教えてください。

同友会に入会した動機を教えてください。

「一社も潰さない」という仲間の絆に支えられて



スナックライオンゲート  
代表  
森 和枝さん

県北  
支部



スナックライオンゲート

住所/ 延岡市船倉町1丁目4-5 月世界ビル1階  
TEL / 0982-26-2828  
事業内容/ スナック

森和枝さんはとにかく明るく付き合いもいいですね。資料をちゃんとつくってくれてありがとうございました。同友会の例会も夜が仕事なのに休みなく参加され学んでます。夜の仕事をしていて女性でなかなか幹事なる人もいません。愚痴も言いません。一人ひとりのお客様を大切にして帰る際には玄関の外まで出て来て、「お見送り」をしてくれて嬉しい気分になります。ますます人気が出て忙しくなりますね。

取材 黒木デザイン社 黒木 詔一

コロナ禍のときは大変だったんじゃないですか。  
コロナが蔓延してから夜の街を歩く方達も少なく、家主さんも家賃を下げてくれました。感染防止として、カウンターにアクリルで仕切りをつけたり、除菌装置や除菌スプレー、マスク代にお金を掛けたのを覚えています。こんな状態が1年以上も続くと閉めるお店やできるだけ家賃の安いところに移ったりするお店が増えました。スタッフが経過した頃で、お客様でもあつた県北支部の方からの紹介でした。会員生活が長く経営に携わるなん

ことは未知の世界で、一つひとつ勉強しようと思ったことがきっかけでした。同友会に関わる中で最も強く感じたのは「経営者とは孤独な戦いではなくって、遊び合いによって育していくものだ」ということ、そして、例会やグループ討論を通して、多くの経営者が言われているのは、社員は共に未来をつくるパートナーだということです。

3年前に再婚され、  
新婚さんですね。

そうなんです。今まで1人で悩んでいましたが、親身に話を聞いてくれ管理経験もありいろいろなアドバイスしてくれています。今は、青森県に単身赴任で3ヶ月に1回しか帰つて来ません。でも、心の拠り所を見つけられたのは心強いです。

れる度にお店に寄つてくれました。他支部の方々が例会に参加した時や延岡に来た時は必ず寄つてくれます。そんな皆さんのお姿がうれしく、「一社も潰さない」という気持ちを感じました。いろんなアドバイスももらいましplusに考へるようになることができました。

今では、月平均350人くらいのお客さんが来てくれ、満席でお断りをすることもあります。申し訳ない気持ちのなか、嬉しい気持ちでいっぱいです。

者をめざしています。今年度は、県北支部の幹事になりました。普段接することができない方々と関わることができて、視野も広がりました。また、会の運営を通じて仲間との協力や調整の大切さを学びました。

創建は949年  
受け継ぎ、次代に繋ぐ神楽と神社



野島神社

## 櫛宣 河野 克武さん

[宮崎南支部]

野島神社は青島と日南の中間の小内海駅のすぐ側の日南海岸沿いにあります。目印は巾着島です。本格的な神楽が奉納される神社の1つです。建立当初は白髭大明神と呼ばれ、浦島太郎がこの地に祀られています。社が立てられたのは、平安時代の949年（天暦3年）。宮司は会員の河野克武さんのお父様。克武さんは、現在「櫛宣」という立場で、神社での神事も任されています。地域の活性化にと参拝客が増えるよう、本文に出てくるアコウくぐり等いろいろ工夫されています。

島神楽は、戦時に一時舞わなかつたことはありました。が、天地創造から天の岩戸開きまでの全22番までを5～6時間かけて舞いました。以前は春の昼間だけ行っていたのですが、早期水稻が主流となり繫忙期と重なるため、今では春と11月23日の新嘗祭と同じ日の昼間の2回舞っているそうです。春の例祭では番数を減らして開催しているようです。

神楽面の中には500年前に海を渡つて来た面もあり、今でも大事に実際に使われています。

地元の人だけでやつしていくのは難しい時代になつており、いち早く、広く宮崎市民に舞手を募集し、練習も街中と地元の2拠点で行っています。

女性も舞うことができ、この取り組みは野島神楽が最初だったそうです。

神楽によって、リズムや舞が異なるため、同じ舞手がいくつもの神社の神楽を掛け持ちするようなことは難しいそうです。全番舞えて、かつ全楽器を演奏できるのは、克武さんだけで、承継を悩まれています。子どもが天の岩戸に隠れる天照大神の舞は、克武さんも演じたそうです。暗い所に閉じ込められるので、泣き出す子もいるようで、それはそれで場を盛り上げているようです。

克 武さんはいろいろ知恵を出し、参拝客を増やす努力

# 訪問記

Vol. 66

## (株)Indi Works

執行役員 山根 美穂さん (41歳)

宮崎北  
支部NEW  
FACE

今回の紹介は9月26日～10月29日入会された1名の新会員さんです。（支部別・50音順）



事業内容 / 採用支援

県北支部	56名
ひむか支部	29名
宮崎北支部	128名
宮崎南支部	78名
きりしま支部	158名
合計	449名

※2025年10月29日現在



すことができます。  
お送りください。自社  
もらいましょう。

ださい。

ボルで、神社の活気が地域の人の元気につながっている」と克武さん。アコウという国の天然記念物に指定されている樹木は、木の特性を生かして、木の下くぐりの道を設けたりして参拝客を楽しませています。2本のアコウが、結び合つていて、夫婦アコウと呼ばれており、縁結び等のご利益があるとされています。



**2** 021年の台風14号の被害で、地域の田んぼが土砂で埋まってしまいまし  
た。そんな中、克武さんは、2反の田を整備し、慣れない米づくりに尽力し、地域の方安心して参拝してもら  
うために、津波の危険がある場合には、裏山に登  
れるように、足場も自分

龜に似た石やハートマークの葉の植物のところにはポップを付けています。手水舎にはビー玉が水中にたくさん敷かれています。

また、古来より風には神の力が宿ると考えられ、人々の願いや運命を左右する力があると信じられており、そこに着目して、絵馬ならぬ風車を奉納してもらつて訪れる人を楽しませています。サイクリングで来られる人も多いためピットも備え付けています。



をしていきます。「神社は地域のシンボルで、神社の活気が地域の人の元気につながっている」と克武さん。アコウという国の天然記念物に指定されている樹木は、木の特性を生かして、木の下くぐりの道を設けたりして参拝客を楽しませています。2本のアコウが、結び合つていて、夫婦アコウと呼ばれており、縁結び等のご利益があるとされています。

克武さんは宮崎市役所勤めをしていましたが、被災を

をしていきます。

たちで整備したそうです。

第1土曜の午前10時より月次祭が執り行われ、祈祷では日々の感謝を伝え、今月の安泰や繁盛等を祈願します。どなたでも参加可能で1人ひとり神前に玉串を奉納します。神事のあとは、御朱印帳を持参されている方には、その場で記帳されていました。書き置きの御朱印も置かれ、一つひとつ筆で書かれているそうで、年

末は年賀状書きならぬ御朱印書きで大変だそうです。周囲のデザインも克武さんが考案しているそうです。最近は御朱印のデザインを奉納してくださいとするデザイナーの方もおられます。

ダイドーグループが“日本の祭り”という番組を2003年から放映しており、活動を応援する祭りの1つに野島神楽が選ばれています。11月の当日は社長も観覧に来られるとのことでした。放映日程は未定ですが、宮崎放送で放映されます。収録されたものはYouTubeで公開されます。

きかっけに、地域の方々のために働きたいという地域を強く想う気持ちから、退職し、宮崎市議会議員として活動で、小蘭社会保険労務士事務所の小蘭幸江さん（宮崎南支部）と知り合い、地域のために事業を営む経営者の声に触れることも大事だと考え、昨年同友会に入会しました。昨年の竜巻被害の時には、被害に遭った会員さんを訪問し、声を行政に届けてくれました。「地域の活性化のためには、これからも、頑張っていきます。みなさまのお立ち寄りをお待ちしています」とおっしゃっていました。



野島神社  
住所/ 宮崎市大字内海6227  
事業内容/ 神社運営

祈祷への参加は色々条件があるのかと思つていきましたので、自分が参加できて、びっくりでした。最後に使われた道具に、参拝客を楽しませたいという強い意気込みを感じました。それが何かはご自身で体験してみてください！

インタビュアー

エンジョイプラン 平山 博士

## CUP DATE information

(有)サン保険企画 専務取締役 堂園 長史さん(県北支部)

新 代表取締役に就任されました。

(株)田中精肉店 専務取締役 田中 俊行さん(きりしま支部)

新 代表取締役に就任されました。

(有)嶋末塗装店 代表取締役 嶋末 武さん(宮崎南支部)

新 宮崎市大字恒久1555番地1

(有)新興工業 代表取締役 西村 顯さん(宮崎北支部)

新 宮崎市大字赤江飛江田 849-4

役職変更

住所変更

## 広報誌にチラシを同封しませ

宮崎同友会会員限定で広報誌にチラシを同封。チラシは、お送りしたい月の前月末までに事務局での取り組み、やっていることを他の仲間にも知つて

チラシの封入は**1部10円**です。

会員460名に封入する場合は、

460名×10円で4,600円になります。

ご自身の所在支部のみ、特定の支部だけに封入することも可能です。

同封をお考えの方は一度事務局までご連絡く

# DO YU 活動ズームアップ

## [ きりしま支部 ]

### 10月例会



きりしま支部10月例会は10月25日「経営理念」をテーマに中山荘で開催。情報関連事業をされている創業者の村山氏、土木建設業の事業承継者である段氏という全く違う業種、立場のお二人に理念経営について報告していただきました。すべての経営者に経営理念が必要であること、また社員や周りの仲間と理念を共有する大切さが改めてわかる報告となりました。

## [ 経営指針委員会 ]

### 第21期「経営指針をつくる会 『方針・計画編』」

9月25日より第21期「経営指針をつくる会『方針・計画編』」がスタート。今回は、7名の受講生が、自社の羅針盤となる経営指針を半年かけて作成します。第1回講座では、受講生の背景を交流しながら各社の10年ビジョンを深めあいました。受講生の皆さんのがんばりと希望に満ちた表情にサポーターも気が引き締まります。



## [ 広報戦略委員会 ]

### メディア勉強会



広報戦略委員会で9月8日、よろずコーディネーター太田七菜子氏による勉強会「テレビ取材の引き寄せ方」を開催。SNS発信の大事さやプレスリリースの書き方など、すぐに使える実践ノウハウを学びました。

＼新着まだまだ、たくさん活動しています！／  
活動内容は同友会  
Facebookでも配信中!!



## 10月理事会報告

日時：10月29日（水）17:00～20:00 於：宮崎市民プラザ+Zoom会議

理事29名中26名出席（出席率89.7%）+事務局2名

01. 前回理事会（9月24日）以降の活動の経過報告を確認するとともに、10月29日までの1名の入会申し込みと2名の退会申出を承認しました。会員数は449名。

#### 02. 各推進協議会から

(1)組織強化推進協議会11月の「会員増強月間」については議題7で論議しました。

(2)人が育つ会社づくり推進協議会の杉村座長より、「秋の役員研修会（9月20日（土））は、役員としての自覚が高まる場となった。レポートでは貞兼社長の『他責は思考停止になる』という発言に共感した声が多かった」、「今後も回を重ね、多くの役員に参加してもらいたいと考える中で、日程の件が話題となっている。今後の研修を準備していくにあたってヒアリングしていきたい」と報告がありました。

(3)地域づくり推進協議会の上田担当理事より

①「7-9月期景況調査は、193件を43.5%の回答がよせられました。理事が2回連続全員回答となったことは素晴らしい。今回、回答率30%台だった県北・宮崎北・宮崎南支部は次回は40%をこえるようお願いしたい」。

那須代表理事より、今回の調査のポイントとして下記の説明がありました。

・地域の内需の低迷、コスト上昇で経済活動が停滞しており。景況は「後退局面」に入っている。

・現在の経営上の問題点では、前回調査から基本的動向はそのままに、仕入単価や人件費の上昇が再加速し、経営を圧迫している。

・経営基盤の強化に向けて注力する分野（経営上の重点）は、財務体質の強化による新規事業展開の動きが加速し、視点は収益源の多角化にむかっている。

・貯上げ・物価上昇に対する対応策としては、「貯上げを実施した」、「商品・サービス価格を引き上げた」、「業務の効率化・生産性の向上に向けた取り組み」などの回答が目立つ。貯上げ対応策としては、原資確保のため「業務プロセスの見直し・効率化」、「収益力の強化や競争力向上」、「新たな売上の創出」などの回答が目立つ。回答企業の積極的な姿勢がうかがえますが、道半ばの状態。働き方改革や人件費以外のコスト削減なども同時に進められている。

②新春経営者交流会の開催概要の提案があり、参加目標100名で取り組むことを確認しました。

#### 03. 宮崎同友会30年史の制作について、金丸担当理事より、11月10日発刊ですすんでいること、会議出席時の手渡しと発送で配布をしていく予定が報告されました。

#### 04. みやざき中小企業経営フォーラムについて

- (1)第34回フォーラムの準備について小原実行委員長より、参加申し込み状況と当日の動きについて報告がありました。  
(2)来年の第35回経営フォーラムの準備にむけては、次回理事会に、設営を担当する宮崎北支部より実行委員会立ち上げの見通しや準備スケジュール等について提案し検討することを確認しました。

#### 05. 総務財務委員より、第2回委員会の内容として下記4点の報告がありました。

- ①2025年度メンバーと役割を確認。  
②九州沖縄ブロック共通就業規則案へは、11月委員会で検討し、理事会に答申する。  
③上半期の実績と今年度收支について、半期で入会が前年度の半分に対して、退会は前年度を上回るペースで推移しており、フォーラムをはじめ各種セミナー等の開催においても大きな収益は見込めない状況のため、単年度で赤字となる見通し。この状況をふまえて理事会へ、①収入に関して、増強は期首会員数の468名は維持するようにすることが必要。「活動繰入金」について、支部や青年部会、委員会でこれを増やす知恵をだしあってほしい。  
②支出については、総務財務委員会で、再度絞り込みの検討をします。という2点が提起、確認されました。  
④今年度以降の財政見通しについて、《会員数は468名の現状維持での、向こう5年間の財政シミュレーション》を事務局で作成し、検討する。

#### 06. 2026年度の役員選考について、「理事及び会計監査規定」をもとに2026年度選考スケジュール案が提案され、1月末には26年度理事予定者が確定することを目標に、①選考委員の選出該当組織は11月中に選考委員を選出すること、②11月理事会では26年度理事定数の検討を行うこと、③第1回選考委員会を12月第1週に開催すること、④支部幹事・青年部会幹事の選考もこれに準じてすすめていくことを、確認しました。

#### 07. 11月の「会員増強月間」の取り組みについて、迎組織強化推進協議会座長が「同友会のコンテンツは充実しているのに成果が上がっていない。様々な活動をやることが目的となっていないか。活動が広がっていない原因は何かを深堀しましょう」と提案。各組織から提出された「上半期の活動の振り返りと11月以降の活動の重点」をもとに、グループ討論を行いました。

11月以降の重点活動としては《退会者を減らす活動を意識する》とともに、具体的にどう動くか、各支部幹事会や青年部会幹事会で論議し、11月17日開催の組織強化推進協議会で共有することを確認しました。

#### 08. その他一来年3月開催の岩手全研への参加目標は、中同協からの要請どおり5名で取り組むことを確認しました。

